



NO. 819
2004年5月14日

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ／ジョナサンB.マジアベ会長

「楽しいロータリー ー手に手、心から心へ輪を広げようー」

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ／西澤正雄会長

【本日の例会】2004年5月14日 第839回例会

◎卓話 イニシエーションスピーチ

「天職に出会うまでの半世紀

ーマーケットリサーチの楽しみ」

当クラブ会員 松永秀和君
(株)インサイトリサーチ代表取締役

【前回報告】5月7日 第838回例会

◎会長報告

山川政樹会員は、春の叙勲で旭日中授賞を受賞されました。心からお祝い申し上げます。

◎幹事報告

国際大会へ登録された会員の方々へ、本部国際大会登録課(RI Online Registration)からの登録封筒を本日ボックスへお配り致しました。その中には「名札」と「記念品引換え券」が入っております。大会にご出席の際、その「名札」をお忘れなくお持ちになっていることをご確認ください。よろしくお願い申し上げます。

◎雑誌委員会報告(二宮副委員長)

「ロータリーの友」5月号の主な記事は以下の通りです。(紙面の関係で一部カットさせていただきました)

- a) エネルギーの源。国際会議(P8)
- b) 男女の性差を越えた一人のパートナーとして(P14)
- c) ロータリーは小さな泉から大きな川へ(P22～24)
- d) 大阪国際大会直前情報(P29)

◎親睦活動委員会(圓谷委員長)

5月11日の本年度最終「火曜会」の案内。

◎クラブ会報委員会(石井委員長)

岸さんが退院されました。5月中は安静にして6月になれば例会に出席できると思います。

◎慶事披露

誕生日祝／小原 健 君(5月7日)、鈴木 貞史 君(5月13日)

100%出席祝／尾上 寛 君(1年)



誕生日祝・・・小原健会員(左)と鈴木貞史会員(右) 100%出席祝・・・尾上寛会員

◎出席報告

会員64名／出席44名・欠席20名(出席規定免除者8名)

ビジター 1名

RI2004年国際大会(関西)

「本会議スケジュール」 会場／大阪ドーム

5月23日(日) 13:00 開場

15:15 開会式

16:40 エンターティメント(17:15)

5月24日(月) 8:00 開場

9:30 第2回本会議

11:10 現・次期RI理事会理事紹介

RI会長挨拶(12:00)

5月25日(火) 8:00 開場

9:30 第3回本会議

10:55 ポリオプラス講演(11:40)

5月26日(水) 8:00 開場

9:30 第4回本会議

講演 緒方貞子氏

11:00 RI会長エレクト紹介

12:00 シカゴ大会プロモーション

19:30 閉会式(21:00)

「友愛の家」は期間中、リーガロイヤルホテル 3F ロイヤルルームと大阪国際会議場 1F プラザで開催。



5月7日 /10件 28,000円

2003～2004年 累計 1,187,649円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

山川政樹／春の叙勲で旭日中授賞を頂くことになりました。5月3日生まれて初めてホールインワンをしました。吉田用親／山川さんの授賞を祝して。小原健／今日は私の誕生日。ズバリ賞です。お祝い有難うございました。鈴木貞史／お誕生日祝ありがとうございます。岩上義明／皆さんゴールデンウィークは楽しめましたか？私は家族サービスでヘトヘトでした。早川清隆／福島さん4月23日はありがとうございました。尾上寛／100%出席お祝いありがとうございます。荒木昭文／連休後半に海に出る予定にしておりましたが、悪天候で残念でした。西澤民夫／竹本さん頑張ってください。私は本日来客紹介です。竹本孝三郎／3週間ぶりの例会になりました。大型連休後皆さん元気にリズムを取り戻しましょう。

【次週予告】5月21日 第840回例会

◎卓話予定

『奉仕の哲学』を翻訳して

元当クラブ会員(チャーターメンバー)
(株)宮本工業所代表取締役

宮本正祥氏

RI 第2750地区2004～2005年度地区協議会

日 時:2004年5月10日(月) 9:30～17:00

場 所:ホテルパシフィック東京

ホストクラブ:東京港南ロータリークラブ

本会議

次期会長 入沢 頼二

当地区82クラブ、約800名の参加のもと、鈴木ガバナーの点鐘により開催され、当クラブからは、馬場地区ロータリー財団寄付金委員長を含め10名が出席した。午前は全体会議、午後は8つの分科会に分かれ熱心な討議が行なわれた。

全体会議では、鈴木ガバナーの激励の言葉につづいて丸山100周年記念事業推進委員長より同記念事業について各ロータリークラブ及びロータリアンが取り組んでいただきたい旨のお話があり、そして仲田ガバナーエレクトから「国際協議会報告および次年度地区運営方針について」大要次のような講演があった。

次年度RIのグレンE・エステス・シニア会長のテーマは「CELEBRATE ROTARY」—100YEARS—ロータリーを祝おう—100年の歩み—で、ロータリーは今100周年を迎えるに当たり行動し続けて来た結果実を結んだ一つ一つの事象を確認し、共に喜びを分かちあい歩み来た100年を「奉仕の一世紀」と意義づけロータリーを祝い、そして過去を振り返りながら現在をしっかりと見直す時として、今何をしているか、正しい方向に向かっているかを共に検討し、明日のロータリーを考えましょう。奉仕の2世紀に向かって共々歩きだそう。特に3つ強調事項を推進したい。1. 水の問題、2. 保健の問題、3. 識字率の向上、これらを恵まれない地域の人々の生活を改善する手助けに家族のような気持ちでやりましょうと呼びかけられました。当地区としてもこのRIのテーマに沿って、1. 国際ロータリー 100周年記念1人1奉仕運動の展開、2. ロータリー財団年次寄付は、毎年1人100ドル目標、3. ポリオプラスは最終年度のため1人5,000円をクラブ予算として25万ドルを目標とする。

最後に来るべき「奉仕の二世紀」への第一歩を踏み出しましょう、と締めくられた。

第一分科会／会長・幹事部会

次期幹事 庄司 泰典

第一分科会は会長・幹事同席のもと、地区の重点課題と重点目標についての説明が仲田順和ガバナーから行われた。重点課題として2005年2月10・11日に第2750地区の地区大会(100周年記念大会)を行う。今年はポリオプラスの75万ドル募金の3年目の最後の年になるので各クラブで5000円／1人を予算化して欲しい。更にロータリー財団の次年度寄付は各クラブの自主申告となったので自主申告は前年度を下回らないように100ドル／1会員をお願いしたい。米山功労者は30万円から10万円に変更になった。重点目標として地区ロータリー 100周年記念1人1奉仕運動の展開。地区ロータリアン5000名の維持目標。1クラブの拡大。ロータリー財団のベネファクター 80名の目標。米山一般寄付は8000万円プラスアルファを目標とする。2005年6月19日～22日までのシカゴ国際大会への参加促進。韓国(第3650地区)との青少年プログラムの実施。RI会長賞への挑戦などが掲げられた。

第二分科会／クラブ奉仕部会

次期クラブ奉仕委員長 佐々木 忠行

地区協議会クラブ奉仕部会は、(1) ロータリー情報委員会 (2) 増強・拡大委員会 (3) 女性委員会 (4) 広報委員会 (5) ロータリー家族委員会の各委員会で構成される。更に

(1) は、ガバナー月信、年次報告、インターネットの各(小)委員会に分かれる。

上記各委員会委員長の発表内容を下記に要約する。

(1)情報委員会 来期は新ルールが新「手続要覧」に発表される予定。ロータリーに関する全てのことが、この「手続要覧」に記載されているので、愛読書のつもりで読んで頂きたい。RIにはインターネットクラブであるE-club(会員10名、アクセス数8,000件)があり、ここにアクセスすることで、make-up可能であるが、通常のそれよりはるかに難しい。

(2)広報委員会 ロータリー活動をロータリアン以外の方々に広報すべきことは、「手続要覧」に明記されているように、クラブの責務であるので、その方法を勉強し実行していきたい。

基本的には(イ)各クラブの社会奉仕活動等を広報委員会がサポートする。(ロ)テレビ局、新聞、雑誌等マスメディアに働きかける。(ハ)新世代委員会、女性委員会等と合同企画をし、目新しい広報活動につなげる。

(3)女性委員会 (イ)女性会員の職業分類の整理を行う(今後増加すると思われる女性会員のために)。ちなみに女性会員の比率は、米国20%、世界平均10%であるのに対し、日本はわずか5%弱程度に過ぎず、日本は先進国の筈なのにと世界の目は見ているとのこと。(ロ)広報委員会、その他の委員会との合同イベントを通じて、女性の会員増強につなげたい。

(4)家族委員会 温かさ思いやりを育む家庭委員会を是非各クラブで設置して頂きたい。

以上分科会に出席して各委員長の情熱を感じ、非常に有意義な会であった。特に広報委員会、女性委員会の両女性委員長の存在感、エネルギーは、男性を遥かに凌駕するものであった。

第五分科会／国際奉仕部会 次期国際奉仕委員長 新保 國彦

三好徹次期国際奉仕委員長の開会挨拶で始まり、活動計画案が検討された。

1. 丸山宏(パストガバナー)カウンセラーより1989～90年度、田辺ガバナーの提唱により、韓国の第3650と第2750地区が姉妹地区締結をし、田辺ガバナーが韓国の第3650地区大会に出席したのをきっかけとして、交流が始まり、青少年交換学生の良い関係が現在も続いていると説明がなされた。

2. 世界社会奉仕委員会では、「毎年すべてのロータリアン」の目標である、1人当たり米貨100ドルもしくはそれ以上の年次プログラム募金の寄付を目標とします。

他国での水資源、保険、識字率向上、プロジェクトを提唱、参加します。

3. バキオ募金委員会では、現状と協力要請の報告があり、支援金が確実に奨学生の授業料として消費されるよう募金は学校に渡しており、本人には直接渡していません。これが基金の他に例のない独特の支援でもあります。

4. 国際親善委員会においては、今存、地球上の至る所で戦乱と争乱による困難な貧困の中、多くの児童、青少年がいます。しかし、この厳しい環境にあっても彼等は勉強への強い意志を持っています。これに応える為に実体的な支援を図ります。

5. 日韓親善委員会の目的は、国際理解と平和の最高の推進力は、異文化と生活習慣を経験することによって、その国と人々との相互理解が深まり未来永劫の平和と強調の基盤となり、交換学生は勿論のこと、その関係家族、関係クラブ、地域社会にとっても多くの効果が期待をしているものです。

～地区協議会の報告は次週号へ続きます～

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕西澤正雄 〔副会長〕小杉眞史 〔幹事〕村山公士

〔会報委員長〕石井謙次 〔今週の担当〕庄司泰典

事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp

例会日・例会場／毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111